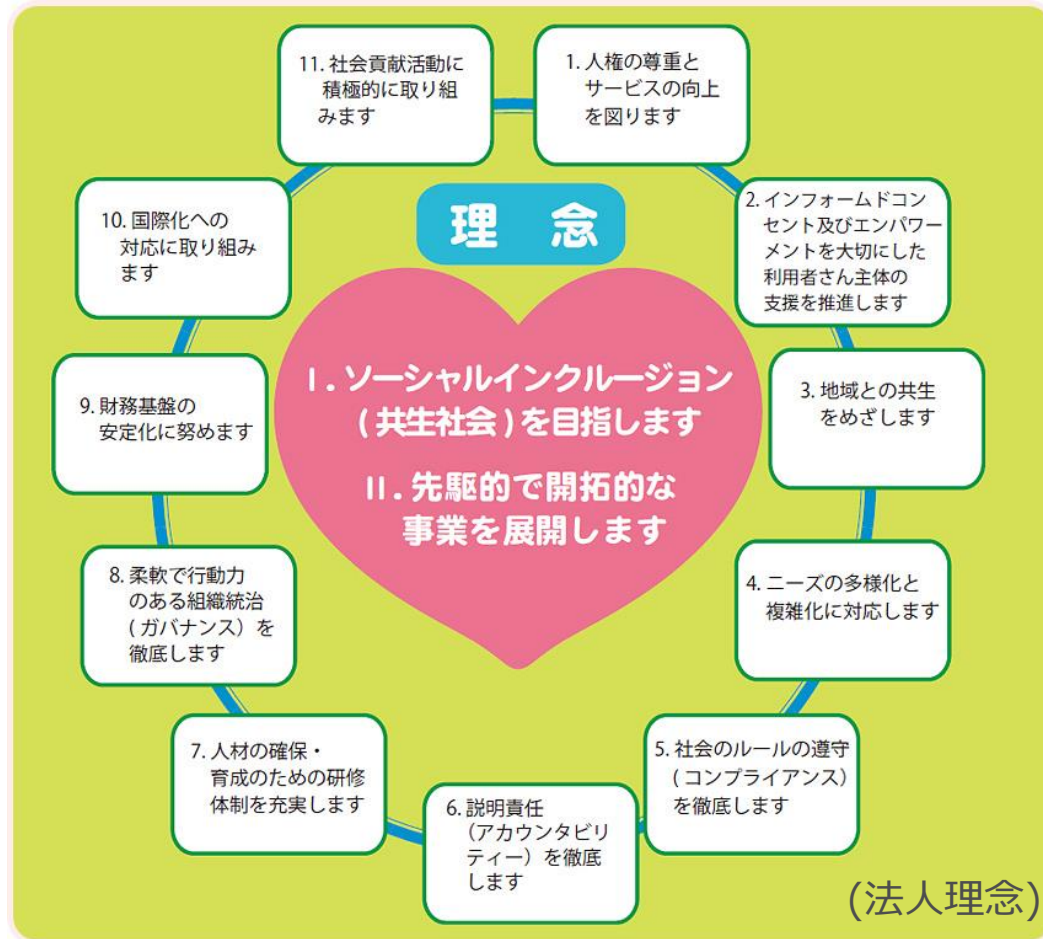


社会福祉法人 県央福社会
やまと発達支援センターWANTS
児童発達支援事業
支援プログラム



作成:2024年12月24日

支援の基本的な方針

私たちは
「子どもひとりひとりが抱く思いや願い」＝「WANTS」を尊重し
子どもひとりひとりで異なる「WANTS」を丁寧に探りながら
「WANTS」の真の実現を支援する取り組みを
ご家族と一緒に行っていきます

- ◆ 将来の自立した生活を目指し、実現性の高い総合的な支援を展開します。
- ◆ 多角的な視点からのアセスメントを基に、ひとりひとりに合った支援の方向性を導き出します。
- ◆ それぞれの障がい特性に合わせた、最適な支援方法を実践します。
- ◆ 5領域を始め、年齢や障がい特性等を踏まえた、バリエーション豊富な活動を提供します。
- ◆ 保護者の不安、疑問等に適切に応えながら、子育てを丁寧にサポートします。
- ◆ 保育所・幼稚園、学校等と連携しながら、地域での子どもたちのより良い生活を支援します。

- ・健康状態の維持・改善
- ・生活習慣や生活リズムの形成
- ・基本的な生活スキルの獲得

健康・生活

- ・行動障害への予防及び対応
- ・対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得
- ・認知の特性についての理解と対応

認知・行動

5領域

運動・感覚

- ・姿勢と運動・動作の基本的技能の向上
- ・姿勢保持と運動・動作の補助的手段の獲得
- ・身体の移動能力の向上
- ・保有する感覚の活用
- ・感覚の補助及び代行手段の活用
- ・感覚の特性への対応

人間関係
社会性

- ・アタッチメント(愛着)の形成と安定
- ・遊びを通じた社会性の発達
- ・自己の理解と行動の調整
- ・仲間作りと集団への参加

言語
コミュニケーション

- ・コミュニケーションの基礎的能力の向上
- ・言語の受容と表出
- ・言語の形成と活用
- ・人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得
- ・コミュニケーション手段の選択と活用
- ・状況に応じたコミュニケーション
- ・読み書き能力の向上

本人支援

領域	具体的な支援内容
健康・生活	<ul style="list-style-type: none">・体調の把握・運動プログラム(公園等・室内)・外出プログラム・買い物プログラム・おやつの提供・調理プログラム・トイレトレーニング
運動・感覚	<ul style="list-style-type: none">・運動プログラム(公園等・室内)・ムーブメントプログラム・サーキットプログラム・感触遊び(小麦粉粘土・スライム・小豆など)・制作課題・個別操作課題(箸・鉛筆・ハサミなど)
認知・行動	<ul style="list-style-type: none">・個別認知課題(プットイン・マッチング・数量概念・大小比較など)・集団活動(あつまり・ゲーム遊び・模倣など)・場面の構造化・視覚支援(写真、イラスト等を用いたスケジュール・タイムタイマーなど)
言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none">・個別認知課題(言葉の概念形成・場面による言葉の選択など)・集団活動(あつまり・ごっこ遊びなど)・言葉以外のコミュニケーション手段の活用・要求手段
人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none">・集団活動/場の共有(あつまり・ボウリング・すごろく・ごっこ遊びなど)・外出プログラム

・アトリエ教室

家族支援

- ・保護者からの子育てに関する不安や疑問等に対する相談支援
- ・子どもの発達状況や、特性等の理解促進
- ・将来を含めた子育てに関する環境や資源、法制度等に関する情報提供
- ・「振り返り」の際の活動状況の説明、家庭等の状況の聞き取り

地域支援・連携

- ・地域の保育所・幼稚園等との子どもに関する情報の共有
- ・地域の保育所・幼稚園からの要請に応じた、支援方法等に関する相談支援
- ・地域の相談支援事業所や他の児童発達支援事業所との情報交換や連携

移行支援

- ・進路や移行先に関する情報提供と相談支援
- ・進路や移行先との子どもに関する情報共有と支援方法等に関する相談支援

職員の質の向上

- ・事業所内でのケース検討、支援スキル向上の為の勉強会 ・法人内および外部研修の受講
- ・定期的な虐待防止研修の実施